

羽村市事業仕分け 議事録

実施日	平成 22 年 12 月 11 日（土曜日）
会 場	市役所 4 階会議室（第 2 会場）
事業名	2 - 4 スイミングセンターの管理運営事業
出席者 （敬称略）	【コーディネーター】進邦徹夫 【仕分け人】双木達雄、塩田篤、伊藤保久、石川美紀
担当課	体育課
質疑応答	<p>（仕分け人） 事務局の説明では、年間を通して利用できるという説明であったが、夏の時期だけ利用できるのではないか。</p> <p>（説明者） 屋内温水プールであるため年間を通して利用できる。</p> <p>（仕分け人） スイミングセンターの位置する場所が瑞穂町との境である。瑞穂町民も利用されているのではないかと思うが、近隣市町村民の利用状況を教えていただきたい。</p> <p>また、市外利用者の使用料が市民の利用料の 1.5 倍という説明であるが、この金額は妥当なものか。</p> <p>（説明者） 4 割が近隣の利用者である。利用者数の多い順に、青梅市、福生市、瑞穂町、あきる野市となっている。</p> <p>また、市外利用者の使用料については、グラウンドや体育館などで 1.5 倍や 2 倍と格差を付けている自治体もあるが、温水プールで市外使用料金を設けているところは少ないと思われる。本市の 1.5 倍については、使用料等審議会の答申を踏まえて設けたものである。</p> <p>（仕分け人） スイミングセンターは人気のある施設であるため、駐車場が一杯で利用せずに帰ってしまうという話しも聞く。もっと市民にとってメリットがあるような、例えば、もう少し使用料に格差を付けたり、市民が優先的に利用できるような設定はできないのか。</p> <p>（説明者） 駐車場については、第一駐車場のほか、動物公園と併用しているため、ご迷惑をお掛けしていると思う。</p> <p>使用料の格差については、適切な受益者負担という観点から、使用料等審議会で審議していただいたところであるが、定期的に見直していく必要があるので、次回の使用料等審議会であらためて審議していただくこととしたい。</p> <p>（仕分け人） プールやトレーニングルームの利用率はどのぐらいになっているのか。</p> <p>（説明者） 個々の利用率は把握していないが、プールについては、12 時間の稼働中、途切れなく利用がある。トレーニングルームやサウナについても、まったく利用者がいないという状況はない。</p> <p>（仕分け人） 使用料については、平成 21 年度でみると、利用者数 140,854</p>

人に対し、使用料 26,177 千円とあり、1 人あたり約 185 円となる。単純に考えても安い金額であるがその点について、料金の見直しを考えることはできないのか。

(説明者) プール使用料 400 円は、他市と比較して低い金額ではないが、コストの面からすると安いと安いため、その他の施設も併せて、次回の使用料等審議会で審議していただくこととしたい。

(仕分け人) トレーニングルームについては、スポーツセンターにも設置しており、重複しているのではないかと思うがその点についてどのように考えているか。

(説明者) トレーニングルームの機能としては、どちらの施設も同じであるが、設置されている器具の種類が違うので区分けはできている。

(仕分け人) 機器の種類が異なっても、体を鍛えるという目的では共通しているのではないか。維持経費の問題から、例えば、スポーツセンターへトレーニングルームを統合するという事は可能なのか。

(説明者) どの自治体においても、身近なところでスポーツができるという目的で地域体育館があるが、羽村市の場合は、スポーツセンターとスイミングセンターを位置づけ、この 2 箇所を設置した経緯がある。今後、各館の機能の整理も含めた検討をしていきたい。

(仕分け人) 指定管理者の自主事業として多くの事業を行っているが、事業の実施にあたって市の関与はあるのか。

(説明者) 自主事業の実施にあたっては、基本的に指定管理者の提案によるもので、アンケートなどをもとに事業内容を検討している。市には、事業提案書という形で指定管理者の応募時に提出されている。現在は市から指示することはない。

(仕分け人) 指定管理者から市へ事業提案があった場合、その事業を不採用とすることはあるのか。

(説明者) 提案された事業を不採用にしたことはない。市民ニーズに合ったものであれば実施していただいている。

(仕分け人) プールの水質や駐車場といった安全管理について、市はどのように関与しているのか。

(説明者) 指定管理者制度ではあるが、市の施設であるため最終的な責任は市にある。

(仕分け人) 実際に事故はあるのか。

(説明者) 例えば、プールサイドで転んで怪我をすといったことはあるが、重大な事故はない。

(仕分け人) 今後の課題・問題点として、「施設・設備の老朽化に伴う施設の改修が必要」とあるが、具体的にはどのように考えているのか。

(説明者) スイミングセンターはすでに 20 年が経過しているため、いろいろな箇所が老朽化している。特にボイラーの老朽化については、市として

	<p>も課題としているところである。</p> <p>(仕分け人) ボイラーについては西多摩衛生組合の熱源を利用するという考えがあったがどうなったのか。</p> <p>(説明者) 当初そういう話があったが、西多摩衛生組合から熱源を供給する設備に多額の費用がかかるので、断念した経緯がある。</p> <p>(仕分け人) 水泳協会が実施していた水泳教室はどうなっているか。</p> <p>(説明者) NPO 法人羽村市体育協会の組織の中に水泳協会があり、スイミングセンターが指定管理者制度となる前から、水泳教室を独自に実施してきた経緯があり、現在も引き続き、指定管理者の事業として実施している。</p> <p>(仕分け人) 今後の取り組みの方向性ということで、「指定管理委託料を削減する」とあるが、単に委託料の削減を図るだけではなく、サービスの質についての検討もお願いしたい。</p> <p>(説明者) 指定管理者の選定にあたっては、企画競争となるため、サービス内容にも審査の重点を置いている。</p> <p>(仕分け人) 平成 24 年度に指定管理者の見直しを予定しているということだが、指定管理者に応募するのは法人なのか。また、何社ぐらいの応募があるのか。</p> <p>(説明者) 応募資格は、法人格を有していることである。平成 18 年度の時には、説明会に 23 社あり、実際に提案書の提出があったのは 4 社であった。</p>
<p>判 定</p>	<p>市が実施 より一層の充実を図りつつ、市が実施すべきである。</p> <p>【市が実施（改善が必要）1 人、市が実施（現状維持又は充実）4 人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民が優先的に利用できるよう検討してほしい。 ・指定管理者の選定にあたっては十分に検討を行いより良いものとしてほしい。 ・使用料やトレーニングルームの存在も含めた市民にとって利用しやすい施設となるよう検討してほしい。 ・安全、コストの面は検討してほしい。 ・指定管理者の選定にあたってはサービスとコストの両方を検討してほしい。